企画展「昭和南海地震80年ー過去から学ぶ、地震と津波ー」

（別紙）
気象庁
Japan Meteorological Agency

今年12月21日で昭和南海地震から80年を迎える節目をとらえ、気象庁は、昭和南海地震等の被害や教訓、地震・津波の知識、南海トラフ地震等への備えの重要性を広く周知するために、以下のイベントを開催します。

●イベント概要

■ 気象科学館企画展　（協力：大阪管区気象台）

（令和8年11月11日(水)～令和9年1月11日(月・祝)）

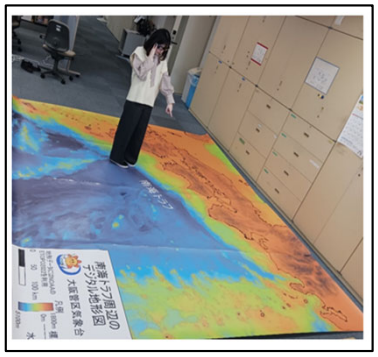
「昭和南海地震80年ー過去から学ぶ、地震と津波ー」

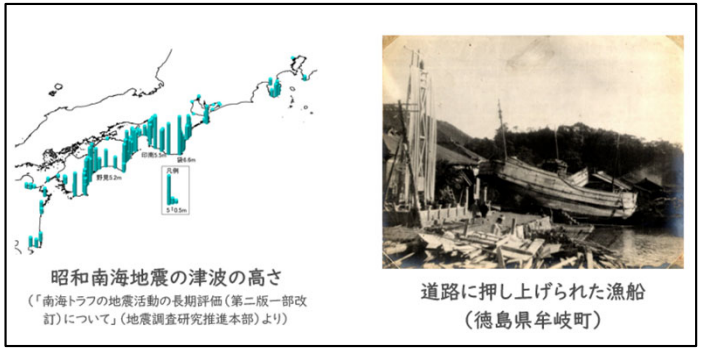
体験型コンテンツも交えて、昭和南海地震等の被害や教訓、地震・津波の基礎知識等が学べます。

主な展示

・解説パネル（南海トラフ地震、地震津波の基礎知識等）
・南海トラフ地形の立体視フロアマット※
・南海トラフ周辺の立体模型
・野島断層トレンチ画像のフォトスポット※
・解説動画（南海トラフ地震、地震の基礎、地震現業の緊急作業、日本列島の地殻変動等）

※展示期間は令和8年11月26日まで



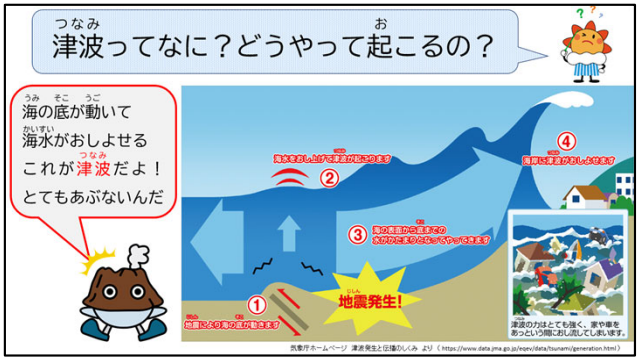


企画展展示例　左：南海トラフ地形の立体視フロアマット
右：展示パネル「大きな地震の後には津波が来る」より

■ 子ども向けミニ講座（令和8年11月16日（月）14:30~15:00）

「地震だ！津波だ！そのときキミはどうする？」

気象科学館の企画展開催中の特別講座として、気象科学館のうずまきシアター内で、実験動画やクイズを使って、地震・津波の基礎知識と発生時に取るべき行動を説明します。



ミニ講座イメージ

気象科学館について

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/intro/kagakukan.html

●関連イベント

高知地方気象台「昭和南海地震80年合同企画展－激動の大地と共に生きるー」（https://www.data.jma.go.jp/kochi/oshirase/oshirase_20261105.pdf）